

## 基本目標2 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

### 1. 子育てを支援する生活環境の整備、子ども等の安全の確保

#### 良好な居住環境の確保

##### <現状と課題>

子育て世帯がゆとりをもって安心して暮らせる住宅の整備等の推進は、子育てに夢を持てる社会を構築するための重要な課題です。

##### <施策の方向性>

子育てを担う若い世代を中心に、広くゆとりある住宅を確保することができるよう、良質なファミリー向け賃貸住宅の供給を支援するなどの取組を推進していきます。

事業名	担当課
シックハウス対策の徹底	建築指導課
計画的まちづくり推進事業	都市計画課
公園整備事業	都市計画課

#### 安全な道路交通環境の整備や子どもの交通安全の確保

##### <現状と課題>

ニーズ調査では、外出の際困ることとして、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」と答えた保護者が2割以上（就学前児童21.8%、小学校児童27.9%）いました。交通事故から子どもたちを守ることが求められています。また、自転車を利用する機会が多い中学生に対しては、自分たちを交通事故から守るために、交通安全教育が重要です。

##### <施策の方向性>

子どもを交通事故から守るため、警察、保育所、幼稚園、学校、児童館、関係民間団体等との連携・協力体制の強化を図り、総合的な交通事故防止対策を推進していきます。

事業名	担当課
交通安全施設等整備事業	市民生活課
交通安全対策協議会の開催	市民生活課
通学路の安全確保	市民生活課
子どもの交通事故防止対策事業	市民生活課
交通安全教室事業	市民生活課

### 安心して外出できる環境の整備

#### <現状と課題>

公共施設等において、子どもサイズの便器・手洗い器、ベビーベッド、ベビーチェア、ゆったりした化粧室、授乳室の設置などの子育て世帯が安心して利用できる施設・設備の整備を推進することが求められています。

#### <施策の方向性>

市役所庁舎の施設から順次設置していきます。

事業名	担当課
公共施設（市役所庁舎）の施設整備	財政課

### 子どもを犯罪の被害から守り、被害に遭った子どもを保護する等、安全・安心まちづくりの推進

#### <現状と課題>

ニーズ調査では、外出の際困ることとして、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」（就学前児童 27.0%、小学校児童 53.8%）が、特に小学校児童の保護者で高い割合を占めています。

近年、子どもが被害者となる犯罪が増えています。子どもに限らず、幸手市に住むすべての人が犯罪等の危険や不安を感じることをないよう、市全体として安全なまちづくりが求められています。

**< 施策の方向性 >**

子どもや親等が交通事故や犯罪等の被害に遭わない安全・安心なまちづくりを進めるため、街路灯の設置や防犯体制の充実等の環境整備を積極的に推進していきます。

事業名	担当課
幸手市街路灯設置事業（設置補助事業）	市民生活課
防犯推進協議会、暴力排除推進協議会への負担金の交付	市民生活課
防犯体制の充実	市民生活課
小・中学生への防犯ブザーの貸与	学校教育課
こども110番の家等推進事業	学校教育課
関係機関・団体との情報交換	学校教育課

**2. 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備****子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備****< 現状と課題 >**

ニーズ調査によると、子育てに関して、親がもっとも不安に思っていることは、「子どもの教育」についてです。子どもをどう教育すればよいか、どう育てたらよいか悩んだり、迷ったりしています。それは、親が子どもの健やかな成長を誰よりも願っているからにほかなりません。

子どもたちの成長には親や家庭の役割も大切ですが、幼稚園、小学校など教育環境の役割も重要です。そこで子どもたちは、人間形成の基礎を身に付けるとともに、様々な体験をし、社会性を学びます。そして、学校は子どもたちに学力をつけさせるだけでなく、子どもたちの心や体の成長を助ける場でもあります。

子どもたちは、親や家庭環境、幼稚園や小学校などの教育環境により、成長していきます。特に、地域社会で最も重要な子育て機能を担っている学校で、子どもたちに自分の考えを持たせ、そして生きる力を身につけさせ、それを伸ばしていく必要があります。

**< 施策の方向性 >**

次代の担い手である子どもが個性豊かに生きる力を伸ばすことができるよう、確かな学力の向上や豊かな心の育成、健やかな体の育成、信頼される学校

づくり、幼児教育の充実を図る等、学校の教育環境等の整備を進めていきます。

事業名	担当課
スクールサポート事業	学校教育課
情報教育研究委員会	学校教育課
情報教育推進事業	総務課
青少年海外交流事業	体育課
英語指導助手の活用	学校教育課
道徳教育の充実	学校教育課
心すこやか支援室設置事業	学校教育課
スポーツ少年団支援事業	体育課
スポーツ教室の開催	体育課
学校図書館協力員配置事業	学校教育課
学校評議員制度事業	学校教育課
地域交流推進事業	学校教育課
幼稚園・保育所・小学校連絡協議	吉田幼稚園

### 家庭や地域の教育力の向上

#### <現状と課題>

子どもたちが初めて出会う社会は家庭です。特に、母親、父親であり、兄弟です。人格形成の最初の間である家庭は、子どもたちが生活していくための知識や技術、社会の規範を学ぶ重要な場です。そして、子どもたちを取り巻く地域社会は、子どもたちの成長に大きな影響を及ぼしています。

ところが、この家庭や地域社会が、大きく変わってきており、子育てに不安や悩みを抱えている家庭も多くなってきています。そして、地域社会では、「隣は何をする人ぞ」というように、地域社会の交流関係の希薄化現象が顕著になってきています。

そのような環境のなかでも、保護者たちは地域に安心して子育てできる場を求めています。家庭や地域社会を支援することが課題です。

#### <施策の方向性>

子どもの成長にとって、家庭や地域社会は最も重要な環境です。子どもたちを家庭や地域社会全体で育てるという観点から、学校・家庭・地域社会の連携の下に家庭や地域における教育力を総合的に高めていきます。

事業名	担当課
すこやか子育て講座の実施	生涯学習課
家庭教育学級事業	生涯学習課
入学準備金貸付事業	学校教育課
非行防止キャンペーン活動	生涯学習課
非行防止パトロール	生涯学習課
スポーツ教室の開催（再掲）	体育課
職場体験の充実（社会体験チャレンジ推進事業）	学校教育課

### 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

#### <現状と課題>

青少年が心身ともに健やかに成長するためには、青少年のために好ましい環境を整えることが大切です。しかし、書店やコンビニエンスストアなどで、性や暴力等に関する過激な情報を内容とする雑誌、ビデオ、コンピュータ・ソフト等が見受けられます。また、テレビ、インターネット等のメディア上には性、暴力等の有害情報もはん濫しており、子どもたちに与える悪影響が懸念されます。

#### <施策の方向性>

関係機関・団体やボランティア等の地域住民と連携・協力して、関係業界に対する環境浄化への働きかけを行っていきます。

事業名	担当課
有害図書等の調査の実施（再掲）	生涯学習課

## 3．職業生活と家庭生活との両立の推進

### 仕事と子育ての両立の推進

#### <現状と課題>

ニーズ調査の結果を見ても、仕事と子育てを両立させる上で大変なのは、

「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」がともに最も多く（就学前児童 34.4%、小学校児童 41.2%）、次いで「子どもと接する時間が少ない」（就学前児童 24.5%、小学校児童 28.1%）です。

そのため、子育て中の男女が職業生活と家庭生活を両立できるような雇用環境の整備が求められています。

### < 施策の方向性 >

職場や事業主に対して、子育て中でも安心して働ける職場環境をつくるよう、仕事と子育てのための意識啓発活動を推進していきます。

事業名	担当課
【新規】ファミリーサポートセンター事業（再掲）	子育て支援課
【新規】延長保育事業（再掲）	子育て支援課
放課後児童健全育成事業（学童保育事業）（再掲）	子育て支援課
一時保育事業（再掲）	子育て支援課
通常保育事業（再掲）	子育て支援課
低年齢児保育事業（再掲）	子育て支援課
障害児保育（再掲）	子育て支援課
男女共同参画意識啓発事業	人権推進課

